学校番号	3001

令和８年度　農業科（バイオサイエンス科）

教科	農業	科目	バイオサイエンス（座学）	単位数	３のうち１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「食品微生物」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

分子生物学および遺伝子工学に関する基本的な内容の学習を通じ、バイオサイエンス（ＢＳ）に関する概要を理解するとともに、生命観を構築する。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
DNA の複製、タンパク質の合成過程などの知識や技術を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
DNA 産業の背景や生命倫理などについて学び、思考および表現する力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】
バイオサイエンスに関する知識や表現の仕方などを身につけるために自ら振り返り深く学ぼうとする姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生命の特徴や微生物研究の歴史を学べているか。 ・DNA の構造、複製の仕組みについて学習内容を適格に学べているか。 ・生物の変異について学べているか。 ・定期考査により学習内容を理解しているか。	・プリントの学習内容を適格に記録されているか。 ・学習内容に関する課題について記述されているか ・定期考査の記述問題から「思考、判断、表現」を身に着けているか。	・座学において参加準備（始業時）はできているか。 ・授業中中の取り組み姿勢から主体性、積極性、共同性を身につけているか判定する。 ・ノート・プリント等における記述、授業中の発言、行動観察や課題テーマの発展した取り組み利用に関心を深め実践的な態度を身につけているかなど。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	バイオサイエンスを学ぶにあたって	・生物界における位置づけを学ぶ ・研究の歴史・発展について学ぶ	a:生物全般の生物界における位置づけを身につけ活用しているか。 b:多様な生物のたどってきた進化の道筋を明らかにし、種類に関する知識や、自分の意見・考えをまとめ表現しているか。 c:バイオサイエンスや微生物に関心を持ち、課題に取り組んでいるか。	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査	提出物 態度 授業の取り組み
2学期	バイオサイエンスの発現	・DNAの構造・複製の仕組みについてより深く学ぶ。 ・遺伝情報の発現 ・バイオテクノロジー	a:DNAの構造・複製の仕組みに関する知識と技術を身につけ活用しているか。 b:遺伝情報に関する知識や、自分の意見・考えをまとめ表現しているか。 c:バイオテクノロジーやその発展に関心を持ち、課題に取り組んでいるか。	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査	提出物 態度 授業の取り組み
3学期	バイオサイエンスの利用	・遺伝子を扱った技術	a:遺伝子を扱った技術に関する知識と技術の体系を身につけ活用しているか。 b:遺伝子を扱った技術に関する知識や、自分やグループの意見・考えをまとめ表現しているか。 c:DNAの構造・複製の仕組みに関心を持ち、課題に取り組んでいるか。	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査	提出物 態度 授業の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度